

週間漁海況情報—第13号

平成25年4月1日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

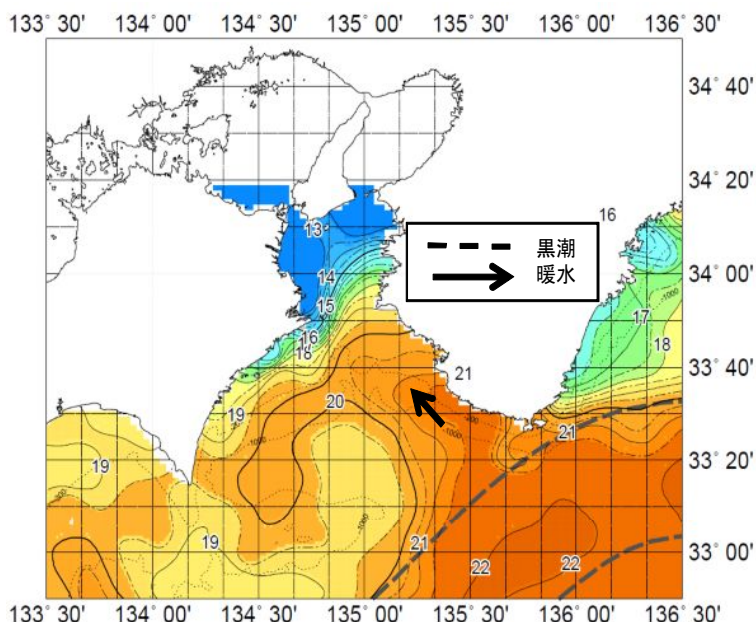
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

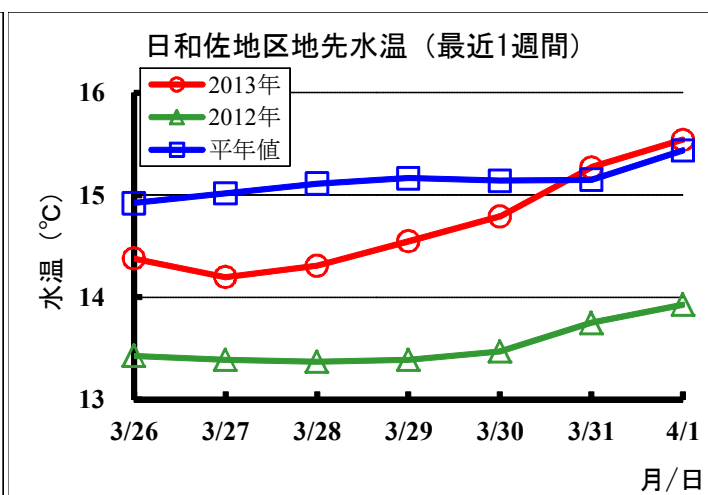
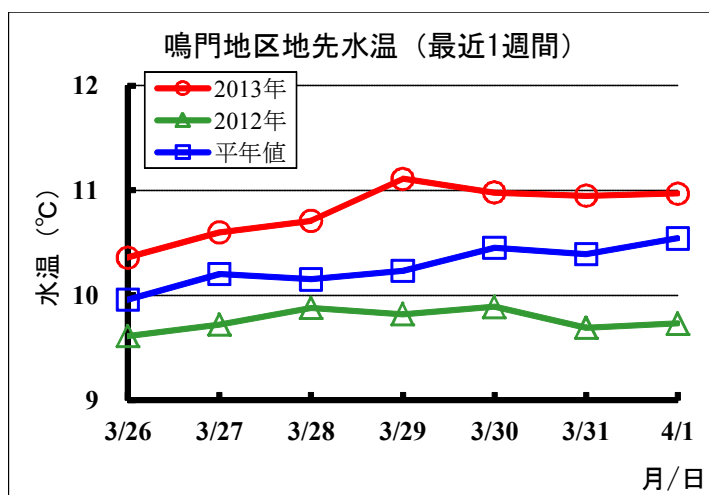
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.4.1）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10～11℃台、紀伊水道12～16℃台、海部沿岸で15～21℃台である。紀伊水道外域では、黒潮の接岸による潮岬沖からの暖水流入がみられ、暖水の一部は紀伊水道内にも達している。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の10.4～11.1℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の14.2～15.5℃、牟岐地区は「かなり低め」～「高め」の13.0～17.6℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアカムツが0.2トン（1日1隻あたり40kg）、大主体にキダイが0.3トン（同13kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、ブリが0.3トン（同9kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが6.8トン（同102kg）、キビナゴが0.4トン（同32kg）、アオリイカが0.3トン（同5kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、特大主体にマアジが1.6トン（同268kg）、小主体にゴマサバが3.5トン（同585kg）、中主体にヒラマサが0.3トン（同45kg）、ブリが1.7トン（同277kg）、メジロが1.2トン（同194kg）、ハマチが0.4トン（同70kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが1.7トン（同47kg）、特大主体にヨコワが4.7トン（同32kg）、メジロが0.6トン（同16kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3トン（同20kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、サヨリ類が0.6トン（同50kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 3月25日～3月31日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	6	242	40	中主体
		キダイ	25	313	13	大主体
建網		ブリ	32	275	9	
小型定置網		カタクチイワシ	66	6,765	102	
		キビナゴ	13	417	32	
		アオリイカ	62	289	5	
大型定置網		マアジ	6	1,605	268	特大主体
		ゴマサバ	6	3,511	585	小主体
		ヒラマサ	6	271	45	中主体
		ブリ	6	1,663	277	
	メジロ	6	1,163	194		
	ハマチ	6	421	70		
釣り		カツオ	35	1,662	47	中主体
		ヨコワ	146	4,724	32	特大主体
		メジロ	37	579	16	
		紀伊水道	タチウオ	14	279	20
パッチ網		サヨリ類	11	550	50	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の3月26日～4月1日には、海部沿岸では、延縄で、キダイが0.3トン、イトヨリが0.3トン、大型定置網で、ブリが1.3トン、メジロが0.7トン、いわし類が0.5トン、小・中主体にマサバが0.7トン、小小主体にマアジが0.4トン、中主体にマダイが0.2トン、小主体にスルメイカが0.6トン、釣りで、中主体にカツオが1.0トン、中主体にアカムツが0.2トン、大主体にタチウオが0.3トン、ハマチが0.2トン、大主体にマアジが0.2トン、大・特大主体にマサバが0.3トン、中・大主体にゴマサバが0.5トン、紀伊水道では、釣りで、特大主体にタチウオが0.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の10～11℃台、日和佐地先で「平年並み」の15℃台で推移する見込み。